

Mintaro

注文コード:27917278

仕 様	材質	持上げ棒	本体:スチール
			ローラー:ABS樹脂
			フレーム:ABS樹脂
		台車	グリップ:熱可塑性エラストマー
			本体:ABS樹脂
			ローラー:ABS樹脂
		長尺台車	シャフト:スチール
			クッション:ウレタン
			本体:ABS樹脂
			ローラー:ABS樹脂
シャフト:スチール			
高さ調節台セット	クッション:ウレタン		
	ABS樹脂		
	台車用ソリ		
収納ケース	ABS樹脂		
	ポリプロピレン		

質量	持上げ棒	約250g
	台車	約85g
	長尺台車	約115g
	高さ調節台セット	10mm台 10g / 40mm台 25g
	台車用ソリ	16g
耐荷重	収納ケース	340g
		最大持上げ能力150kg
	台車	4台使用時 最大使用荷重300kg
	長尺台車	2台使用時 最大使用荷重200kg
	高さ調節台セット	最大使用荷重100kg
生産地	持上げ棒	日本製
	台車	中国製
	高さ調節台セット	中国製
	台車用ソリ	中国製
	収納ケース	中国製

サイズ	持上げ棒	(約)長さ30.5×幅7×高さ5.5cm
	台車	(約)幅7×奥行10×高さ2.5cm
	長尺台車	幅4.5×長さ31×高さ1.5cm
	高さ調節台セット	ベース 直径7×高さ2cm
		10mm台 直径7.5×高さ1.5cm
		40mm台 直径7.5×高さ4.5cm
	台車用ソリ	幅8.5×奥行9.5×高さ1cm
収納ケース	幅34×奥行17.5×高さ10.5cm	

⚠ 注意

ご使用前の準備

- ## キャリアのご使用方法

⚠ 注意

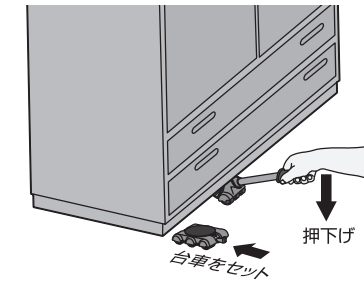
① 差込む

An illustration showing a person from behind, wearing a grey shirt and shorts, pulling a drawer out of a cabinet. The person's right hand is on the top edge of the drawer, and their left hand is reaching down to the bottom roller. A black arrow points to the left, indicating the direction to pull the drawer out. The cabinet is grey, and the drawer is a lighter shade of grey.

③ 家具などを移動する

A black and white line drawing of a young child with short hair, wearing a long-sleeved shirt and pants, standing inside a large wireframe cube. The child is holding a small toy car in their hands. Several other toy cars are scattered on the floor inside the cube. The cube is drawn with dashed lines to represent its edges.

② 台車をセットする



④ 台車を取除く

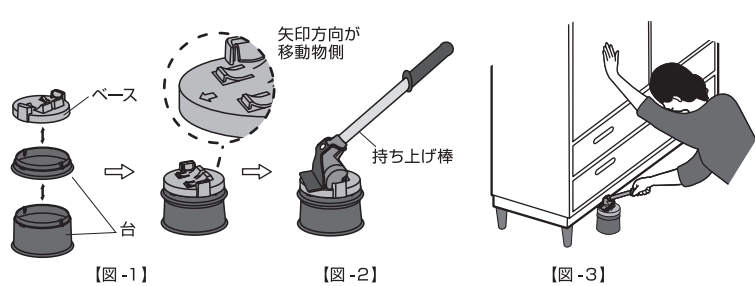
動かしたいものの移動する方向を変えたいときは、再度持ち上げ棒で持ち上げて台車の向きを変更してください。

⚠ 使用上の注意

- ## 高さ調節台セットご使用方法

- ①家具の脚の高さと同じ高さになるようにベース台の高さを調節します。【図-1】
(ベースの高さは10mm、台の高さは10mmが3個 40mmが3個あるので、組合せにより10mm から160mm までに調節できます)。
- ②持上げ棒をベースにセットしベース台と持上げ棒を一体化します。【図-2】
- ③家具を持上げて台車をセットし、移動します。【図-3】

脚付き家具の場合
200kg
約物まで移動できます
(台車4台使用時)



台車用ソリご使用方法

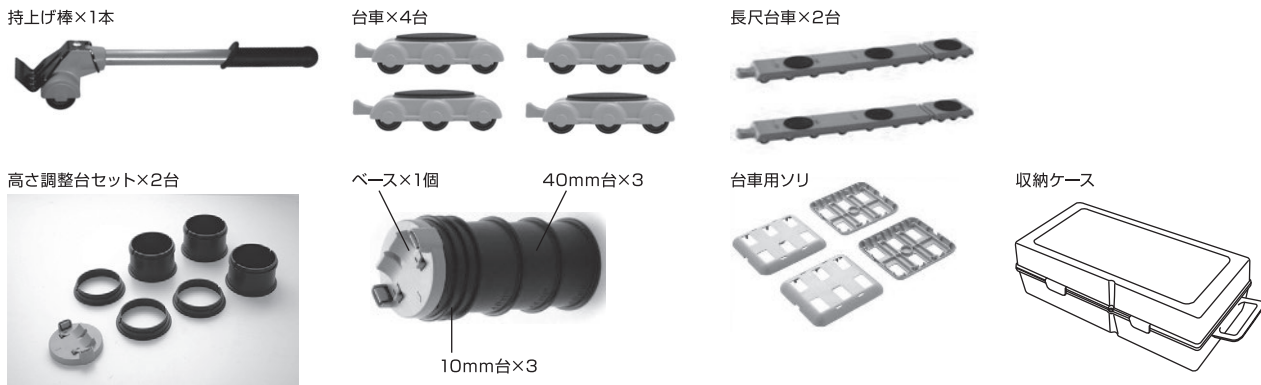
《台車》

ツマミ

《台車用ソリ》

【図 -4】

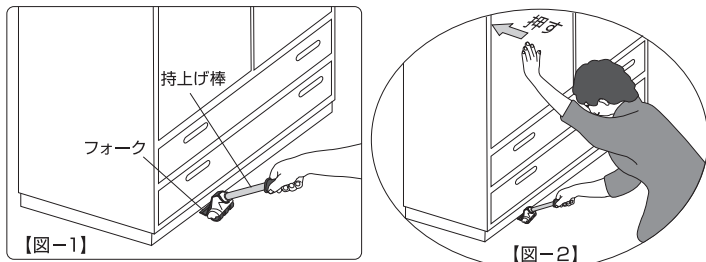
セット内容



長尺台車のご使用方法

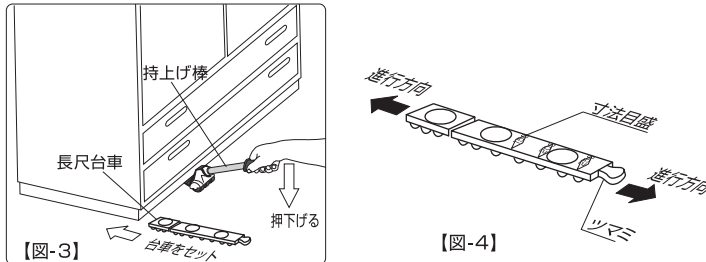
一般の床材(たたみ、フローリング、カーペットなど)用ですが、傷つき易い白木の床材や柔らかい床には台車のローラ痕が残る恐れがありますので使用しないでください。絨毯などは、台車の走行が困難になり易いので使用をさせていただきます。

- ①、【図-1】のように、移動したい家具の下に 持上げ棒のフォークを差込みます。



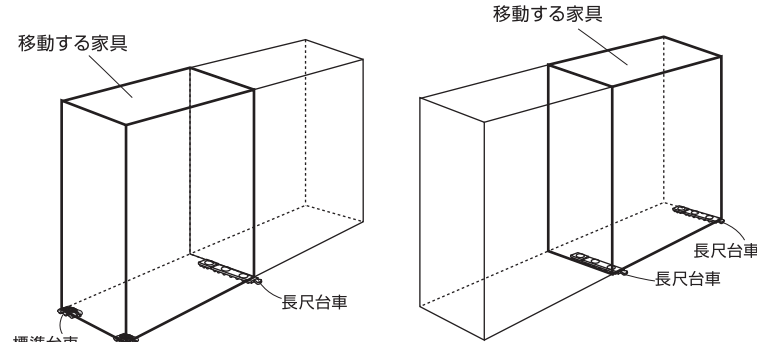
ワンポイントアドバイス 床と家具の間に隙間が無く、フォークが入りにくい時は無理やり入れずに、【図-2】のように家具の上の方を押してフォークを入れる所が浮くようにすると入り易くなります。

- ②、フォークが根元までしっかり入りましたら、持上げ棒のハンドルを徐々に下に押しします。持上げ棒はテコの原理で、ハンドルに加えたあなたの力の約5倍で家具などを持上げることが出来ますからゆっくりと軽い力から加えてください。いきなり力を入れると家具を傷めたり、転倒を招くなどして危険ですから注意してください。
- ③、家具の下に、台車を入れるだけの隙間が出来たら、【図-3】のように台車を家具の下にセットします。 長尺台車には、寸法目盛がありますので、必ず家具の奥行き寸法の半分以上挿入してください。この時、必ず台車のツマミの部分を持ち家具の下に手を入れない様にしてください。



収納ケースのご使用方法及び使用上注意

- 製品を火気や高温の物に近づけないでください。製品の変形、変色の原因となります。
- 製品を直射日光の当たる場所に置くと変色の恐れがあります。
- 製品の上に物を置かないでください。製品の変形の原因となります。
- 用途以外の目的で 사용하지しないでください。また、不当な修理、改造はおやめください。



【図-5】長尺台車1台と標準台車2台での移動
(家具の片側が空いている場合)

【図-6】長尺台車2台での移動
(家具の両側がふさがっている場合)

- ⑥、台車の通り道に段差や異物、傾斜の無い事を良く確認し、ゆっくりと移動します。
- ⑦、移動が終わりましたら、再び持上げ棒で家具を持上げて台車を取除きます。



ワンポイントアドバイス
家具を押す位置は、出来るだけ
家具の低い位置を押すと安全
に安定して移動できます。

